

An Introduction to Historical Material entitled "Toyotomi Osukiya Kiroku"

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/44776 |

史料紹介 『豊臣御数寄屋記録』

黒田 智

An Introduction to Historical Material entitled "Toyotomi Osukiya Kiroku"

Satoshi KURODA

『豊臣御数寄屋記録』は、かつて大坂城の宝蔵に収められていた絵画類を書き留めた記録の抜粋である。

本史料には、豊臣時代の大坂城の西と南の宝蔵に収められていた約二六〇点の古画が八つに類別して一覽されている。四つある西御蔵には、「豊臣三十一宝」とよばれる東山御物の流れをくむ唐物を筆頭に、日本の名勝や故事を題材とした絵画の重宝がならぶ。南の二の御蔵と三の御蔵には、それぞれ秀頼、秀次の御物とされる絵画類が列挙されている。

加えて、本史料には主要な重宝の制作と伝来に関する情報が盛り込まれている。たとえば、現在、徳川美術館に所蔵される「龍図」、同「虎図」は、南宋末期の文人画家陳容と牧谿の作に比定され、文永四年（一二六七）に朝鮮から鎌倉幕府八代將軍惟康親王に贈られ

たのち、足利將軍、信長、秀吉をへて尾張徳川家の蔵品となったと記されている。このことは、同図の作品を解説する上で早くから引用されてきたものの、これが本史料がとり上げられた唯一の例にすぎない。

本史料は、これまでまったく知られることのなかった豊臣秀吉・秀次・秀頼の宝物コレクションの一端をうかがわせるきわめて希少な史料である。それは、室町殿・東山御物と徳川幕府・柳宮御物という中近世の武家の宝蔵・宝物の歴史の空隙を埋めるものとして注目される。中近世武家政権の宝蔵と宝物コレクションの継承・変容の歴史の背景には、贈与や掠奪による権力の移譲があった。ゆえに、本史料は、豊臣政権のみならず、鎌倉幕府から足利將軍家、後北條氏、織田信長らによって連綿と継承され、徳川幕府へと受けつがれ

てゆく権力と文化の系譜をさぐる重要な手がかりとなるだろう。

ただし、本史料に書かれた伝来すべてをそのまま事実と認めることは難しい。冒頭に「天正九年ヨリ同十四年迄分」との記載があるものの、江戸時代以降の伝来を示す記載が数多くあつて、文中では文化七年（一八一〇）がもつとも新しい注記である。また安永年中（一七七二〜八〇）の「田沼主殿頭殿（意次）」への流伝を一三ヶ所にわたつて書き記している点も、書写の経緯をほのめかしている。

本稿では、以下に『豊臣御教寄屋記録』の全文を翻刻する。

底本とする東京大学史料編纂所本は、六六丁（うち墨付き丁数は六三三丁）からなる謄写本である。奥書から、昭和五年（一九三〇）に東京上野の美術研究所にあつたものを謄写したことがわかるが、現在の東京文化財研究所では原本は所在不明となっている。

また東京芸術大学附属図書館には、「御宝蔵御教寄屋御記録 全」という外題の謄写本が残っている。七三丁（うち墨付き丁数は六八丁）で、内題に「豊臣家御教寄屋記録」とある。奥書には「原本小田原松田福一郎氏所蔵／昭和廿二年二月十七日写了／望月／生田目」とあり、ほぼ同文ながら、別の諸本から謄写した伝本と考えていい。史料編纂所本の写し崩れをいくぶん修正できるもの、脱漏や誤字も多い。

〔凡例〕

- 一、翻刻は、東京大学史料編纂所所蔵謄写本『豊臣御教寄屋記録』を底本とした。
- 二、漢字仮名の書き分け、「〇」や「マ、」等の注記を原文のままとした。原則として常用漢字を用い、適宜、読点・並列点を付した。
- 三、東京芸術大学附属図書館所蔵謄写本と異なる部分を□で示した。

〔翻刻〕

「豊臣御教寄屋記録」

「豊臣家御教寄屋御記録抜写」

天正九年ヨリ同十四年迄分

鳥氏東齋奏英俊

目録

御表掛合之分

| | | |
|--------|----------|--------|
| 天正九年分 | 五拾六冊 | 七百二拾一冊 |
| 同十年分 | 三拾八冊 | 九百拾六冊 |
| 同十一年分 | 六百九十二冊 | |
| 同十二年分 | 五百三十三冊 | |
| 同十三年分 | 七百六十五冊 | |
| 同十四年分 | 千三百八十三冊 | |
| 同十五年分 | 八百二十四冊 | |
| 同十六年分 | 四百七十二冊 | |
| 同十七年分 | 八百十九冊 | |
| 同十八年分 | 千八百七十九冊 | |
| 同十九年分 | 二千三百三十六冊 | |
| 同文祿元年分 | 千九百二十七冊 | |
| 以上 | | |

御宝蔵御教寄屋御記録

御宝蔵番頭

谷崎伊織

大條民部少輔

松下勘兵衛

南條若狭守

御道具奉行

加藤越後守

同吟味掛り

奥井仙知法眼

蜂江主膳

奥御教寄屋頭

谷崎余元法橋

堤友益法橋

生駒圓佐法橋

栗生善悦法橋

岡崎周安

土佐圓信

同頭取

三多村道水法橋

入江安悦法橋

佐藤祐三

林永阿法橋

古筆見

橋永阿弥法橋

宗民部卿法印

田村日向守

津田丹阿弥

四宮藤五郎

神田兵部少輔

長井三左衛門

天野民部介

寺田宮内少輔

相田内匠

喜悦平馬

山田太左衛門

牧野頼母

森木祐甫法橋

井上久三

長野清甫

魚住善朴

生駒信佐

貴多良圓

平野道喜

水島周悦

寺井永喜

御表御教寄屋頭

長尾玄頭法眼

武藤周賀法橋

山田玉麟法橋

坂川正真法橋

柳田玄運法橋

御表御掛物掛り

林宮内卿

長坂三九郎

保坂因幡

諸国地里画図面預

下川又右衛門

庄林相模守

並川伯耆守

品川主殿介

塩見和泉守

熊谷内蔵介

佐々備前守

白川上総介

中川式部少輔

武田伯耆守

三浦将監

御茶道頭御近習

津田宗及法眼

今井宗久法印

御近習見習奥詰

中村泰風軒法眼

日下玄恭法眼

- | | | | | |
|--|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 大井正阿弥 名越亀洞斎<small>名</small> 同玄端 石川玄賞斎 大久保寿楽 橋本宗以 高井田良忠 日野久庵 | <ul style="list-style-type: none"> 御茶道來 中嶋祐璘<small>璘</small>法橋 新野仙佐法橋 百木春悦法橋 松井立甫法橋<small>立</small> 辻圓真 | <ul style="list-style-type: none"> 同 藤掛一甫法橋 南部恕川法橋 千種貞察 青山宗嘉 坂桃々院 今宮良以法橋 塩谷英輝法橋 山中仲英法橋 三浦玄佐法橋 鹿島一笑法橋 小西龍性院法橋 田中宗龜法橋 湯目東庵 | <ul style="list-style-type: none"> 兼原宗真法眼 伊東齋山法橋 三上守龍斎 武田白翁法橋 大河内久佐法橋 民代多隆安法橋 同頭取衆 曾我廣悦法橋 川越元甫法橋 真田英佐法橋 福島宗里法橋 結<small>結</small>綾<small>綾</small>道閑法橋 戸田玄祭法橋 | <ul style="list-style-type: none"> 奥井周悦法眼 安達玄三法眼 村越咲閑法眼 江間養悦法橋 平岡玄碩法橋 千葉道斎法橋 同御次詰衆 大井玉雄法橋 武内洞閑法橋 一條玄弥法橋 中澤下野守 原須益法橋 岡本祐悦法橋 吉田養竺法橋 |
|--|---|--|---|---|

倉橋須真法橋

山崎真佐
安部春嘉
大條林雪

御数寄屋御記録

大條民部少輔
南條若狭守
奥井仙智法眼

西御蔵之部和漢古画三拾二軸入

老番印 二番印 三番印

一、雨牡丹

豎幅一文字白印金
極彩色絹地中滿州
織金上下茶地古牡丹

趙昌

成田下總守臣曾根右京所持、其後野村伊予守所持、天正年中豊臣三拾二宝定、

淀屋持之後、安永至田沼主殿頭所持之者也、

右模右模元信撰州鹿島屋氏二テ所持、

一、仙人

絹地豎幅彩色
一文字二重織紅金
中薄茶紙紙子上下

馬公頭

唐茶錦

応安二酉年陸奥国名取郡北月庄司氏成、足利將軍義滿公江献之、足利代々伝之、

○天正十四丙戌二月中村式部少輔一氏得之、其後豊臣三拾二宝定之、

元和元年木村長門守臣肥田伊織所持、又後淀屋辰五郎所持之、

箱書附津田丹阿弥

二重箱内黒地高蒔画外朱御紋附

一、龍虎

雙福墨一文字白

印金中茶地唐織

上下滿州茶錦

陳所翁
僧牧溪

人皇八十九代院帝

龜山院御宇、文永四年丁卯十二月、

鎌倉將軍維康親王之時、始テ從高麗國渡海、親王秘之、弘安六年癸未正月、鹿島橋次公業拝領之、橋次二男右衛門大夫公晴伝之、永仁元年巳九月九日鹿嶋氏代々伝之、○其後鹿島近江判官時定、曆応二載足利尊氏公江献之、足利代々伝之、

右軸、永祿九十一年月廿日、從足利義榮將軍織田信長公拝領之、其後、天正八辰正月三日豊臣御物、

文祿年中木村長門守所持之、代々伝之、
後島右京所持之、

當時尾張殿秘之者也、

一、漢高祖為農民臣下図

月山道人

極彩色大豎幅絹地

一文字滿州織金中二重鶴上下

唐織二重箱内墨地御紋唐輝

高壽繪 外箱背具御紋計

人王九十一代帝

伏見院之御宇、永仁元癸巳二月從高麗渡來

肥前曾我庄五郎所持之、代々伝之、其後延慶三年戊九月、守邦將軍江献之、亦後文保二載駿河木下民部勝豐秘之、

康正六年乙亥十一月東山義政公秘之、代々足利家宝、元龜

元庚午正月廿二日、津田法眼拝領之後、天正三年織田信長

公江献之、天正十一年癸未 秀吉公被秘之者也、

元和年中木村長門守臣八坂主計所持之也、

後淀屋氏所持、又後安永年中、中田沼主殿頭當時

狩埜養川院所持之、

一、二疋龍

豎幅絹地一文字

古金襴中二重鶴

上下滿州龍紋

陳所翁

建保六寅年、鎌倉美朝公江肥前壳人堀口平内献之、貞応二年未

正月一日、北条陸奥守平義時拝領之、北条代々伝之、康元元年辰十月北条平重時、親鸞上人江伝之、弘長元年遠江兵庫分頭

勝江伝之、其後弘長三年興福寺江納之、以來伝之、

建治三丑七月廿六日雷火之節、恭思ト云者火中ヨリ取出シ

テ伊豆前司治部大輔朝吉二伝之、○徳治二年名越土佐前司

時光所持之、○嘉曆元年壬種中将忠頭卿古画墨跡ヲ集テ大

塔宮江奉也、○曆応元十二月尊氏諸國之古画墨跡之類集之、

永祿年中織田信長公秘之、亦其後二至テ岡田縫殿所持之、天正年

中御物

元和年中、中村式部少輔一氏臣中澤源吾持後、森内藏守所持者也、

一、屋體人物

豎幅彩色

王輝

一文字紫印金

中古金襴上下二重鶴

軸サシコ拵 二重箱内墨地御紋

唐輝外箱銅金サウカシ

寛元四年、肥前三根三根右京所持之、

源將軍頼嗣公江献之後、北条家所持、弘安二年日蓮上人所持之、

同二月廿七日池上右衛門大夫江伝之、其後至テ正安三年埜村三

郎重時持、○元弘元年至テ尊氏公秘之、以後代々伝之者也、○

永祿年中島左近拝領之後、明石掃部介全登得之、○天正十二年

六月御物、

元和年中、古田民部卿法印所持之也、

元和年中、奥井周悦法眼持之、

後淀屋氏持之、又後亦坂九郎二持之、

安永年中、田沼主殿頭持之、

一、寿老人愛鹿図

雪舟

極サイシキ紙地一文字

蜀錦中古キ、蘭上下

満州織出古牡丹大罽幅

一、玄宗楊貴妃

趙子昂

極サイシキ一文字上下モ天織金

中茶古牡丹上下浅黄御紋唐紳

永禄年中乱軍之時、從足利平賀民部拝領之、天正十三年酉十二月、古田重勝得之、則豊臣献之、重勝三十二宝定之、

元和年中、南條駿河持之、

淀屋氏持之、寛永十酉二月、千葉織部持、玄宗之軸者安永

年中宗義盛持之、

宗氏代々伝之者也、

寿老人者、安永年中田沼主殿頭持之、

一、李伯張九合

馬遠

一文字古キ

蘭中朝鮮

織金上下満州錦

東山殿御物後、甲州武田信玄所持之、又後朝倉義景所持、天正六年織田信長公秘之、天正十年三月桑山重晴修理亮 豊臣江献之、

元和年中新美人左衛門一男中務所持之、

又從屋氏所持之、安永年中、田沼主殿頭、

當時狩替養川院持之、

一、月濤図

丸形彩色一文字

馬麟

古キラン中茶御紋

唐紳上下満州トンス

二重箱御紋高時面

外梨（蜀子地）

東山殿御物代々伝之、元龜元庚午二月、山口市部得之、天正年

中、井上小左衛門時利秘之、古田重勝定之者也、

元和年中蜂江仲太夫所持之、

當時奈平安芸守所持之、

一、張白房

子昭

一文字茶唐織金

中蜀紅牡丹上下

茶地御紋唐紳

東山殿御物、永禄二未年十一月新宮左馬介得之、天正年中御所持、

一、牛人形

李唐

元和年中關東、

小横幅墨面

一文字印金中満州

天正五年丁丑二月九日、大蔵卿宗久法印献之、同年七月廿四日、三十二宝定之者也、

元和年中木村民部所持之、

同年關東、

堅モノ彩色紙地一文字

古牡丹中満州織金

上下御紋唐紳

天正二年十一月廿八日、從高野山献之、

元和年中、南條中務後、山中善九郎、其後小堀遠江守政一所持之、

一、観音

墨面絹地一文字

平清盛公

地不知中古牡丹中カ

上下竹口、カニ二重箱内壽画下見得外箱御紋付墨地服紗蜀錦織金、

建久九年戊午二月近江国司石堂判官次郎兵衛平直政所持、○建

久元年九月大和判官片桐三郎平永光得之、代々片桐氏所持之、

康元元丙辰年四月八日、親鸞上人得之者也、其後文永三年、鎌

倉將軍惟康親王江献之者也、以来將軍家秘之者也、

永祿四年今川義元之所持之処、佐久間河内守政実得之、信

長公二献之者也、以来織田氏秘之者也、天正二年甲戌正月

十六日被秘之、同十三年三十二宝定之箱書附、古田重勝認

之者也、
右之軸写 辨原式部大輔政倫所持、

同写、 織田氏持之、

正國者元和年中、宗中務所持、正徳年中失焼、圖無之、

一、風雨竹 雙幅絹地 墨絵一文字茶地印金 梅華道人

中上下共二御紋唐舩

永和元年乙卯飛騨国天竺光仲所持之、其後天文元辰年織田氏所

持、天正二年蒲生氏郷所持之、天正十一年古田重勝得之、同十

二年六月被秘之者也、

淀屋氏所持之、其後安永年中田沼主殿頭所持之、

一、風牡丹 大豎幅襷形色 王若水

絹地一文字紫印金

中薄茶唐織上下 御紋唐舩二重箱内墨地御紋織

仙唐舩外箱朱唐舩

羽州後藤四郎兵衛平光貞、永享元戊辰年正月二日足利將軍義政公

江献之者也、足利代々秘之、其後松永彈正少弼久秀

右軸淀屋辰五郎持後、摂州元人(持)秘、

為所持之者也、其後堀尾先生帶刀吉勝献之者也、

右之軸取合三幅対トナス者也、

中子昂筆 玄宗楊貴妃之画

左趙昌筆 雨牡丹

右王若水筆 風牡丹

外 箱書附 古田織部正重勝認

安永年中田沼主殿頭持之、

一、海棠豆廻

文化七年東都御絵所エ来覽、

丸形サイシキ絹地 一文字印金中織地 不知上下満州ヲリカ

貞治二年癸卯五月大明ヨリ来渡、肥前濱名民部在光所持、其後

朝倉臣筑前總浪郡住伊東小次郎所持之、天正年中筒井伊賀守貞

治得之後二献之者也、

淀屋辰五郎難波寺方所持之

一、呂靈人 文化年中松平安芸寺所持、 大豎幅一文字白 印金中古キンラン 二元信

紙地 上下満州織金

文亀三癸亥七月、三浦左近衛尉定國、足利義澄公江献之、永祿

三申年 織田信長公秘之、天正十一載九月長曾我部土佐守秦元

親所持之、同十二載六月 日被秘之者也箱書附山口民部法橋書

元和年中京極彈正所持之、其後

関東御連枝所持之、焼火図無之、

横四幅対 表具無之

一、琴碁書画 表具無之 箱入 法眼元信

箱入

大永六年江州之農人義晴公江献之、足利家宝、天正九年於姫路御城足利家ヨリ拝領、

右奥御記録留在之、御表御記録モ留在之也、書附 古田重

勝書之、

一、周茂叔風蓮弘愛図

絹地小角形彩色

馬麟

一、林和靖

一文字古キラン中唐織

馬遠

上下茶蜀錦カ^(註)地生不和

右両幅寛正元辰年、從朝鮮来渡北村九郎康仲秘之、其後最上出羽守所持之、永禄年中越後三上住曾根半治得之、直江山城守江壳渡、

天正年中二至テ甲州臣渡部式部卿木村主計頭宗重持、同十二年六月七日、被秘之者也、

元和年中近江之者関東江

一、真山水

大整幅雙輪彩色

孫君澤

一文字印金中蜀錦

永享五丑年、從朝鮮来渡備中国本城右衛門源英光、足利義宣公江献之、以後代々伝之者也、長享末二年六月、佐々木高頼所持之後、正雲法眼得之、又後津田法眼持、天正年中被秘之者也、

書附

津田宗及法眼

古田織部正重勝

一、梅

横幅絹地一文字白

楊庭光

一、琴碁書画

印金中上下毛御紋唐錦

趙子昂

雙幅一文字蜀錦カ
中上下毛織地不定

人皇百一代院帝 後小松院之御宇、肥前佐賀郡山中刑部政俊所持之、明德二年、曾我中務得之、代々曾我氏伝之者也、其後、中務次男岡部藤次郎得之、応永廿四年酉正月朔日、足利將軍義持公江献之、以来足利家所持トナス者也、天正六年、長曾我部土佐守泰元親献之、三十二宝定之者也、

御表御記録二者、元親義昭公之妻美津井ノ方元親之妹ナリ

シ、故此軸ヲ得依之、天正十二年土佐守大興御教寄屋江献スルト在之、二重箱朱地唐艸高蒔画、外箱墨地金ニテ扇ヲラン

外題 狩野永徳

元和年中朝倉右門所持之、

後淀屋辰五郎所持之、

安永年中、田沼主殿頭所持之、

徽宗皇帝

一、牡丹鷹

極彩色雙幅

絹地裏具無之

錦紙^(註)入二重箱内墨地蒔画

御紋唐艸外箱^(註)春慶箱書附

古田重勝 津田法眼宗及

寛正元辰年、從朝鮮来渡肥前国並河民部義忠所持、同六年酉二月、足利家江献之、其後永禄四年 織田信長公秘之、元龜三年、塩見和泉守得之、天正十二年正月七日献之、

慶長五年稻木氏所持之、

後淀屋辰五郎持之、

一、尊氏馬上図

整幅彩色

土佐

正長元申年、赤泰満祐所持之、嘉吉二年戊二月、佐々木四郎兵衛光綱秘之、文安五年義政將軍江献之、足利代々伝之、

右軸

天正九年於姫路被秘之者也、

元和元年九月石崎道永持之、

尊氏之像

元和三年尾州寺方所持後

松平加賀守殿所持之、

一、墨梅

大豎幅雙掛

楊甫之

一文字素印金

中古錦圍上下

織生不知

東山殿御物谷崎伊織、福島正利江伝之、後天正十二年六月御物、

二重箱内朱御紋附

古田織部正

箱書附

堤法橋友益

元和年中小松中納言殿所持之者也、

西御宝蔵老之印六長持之内

御宝蔵番頭

谷崎伊織

松下勘兵衛

南條若狭守

加藤越後守

奥平仙知法眼

蜂江美濃守

朝井内蔵頭

谷崎甚左衛門(五郎)

大久保大学

鹿嶋主計

御数寄屋衆

入江安悦法橋

御宝蔵掛り

見習

佐藤祐三法橋

林永阿法橋

入江道味法橋

長井三左衛門

天野民部介

寺田宮内少輔

相田内匠

山田太左衛門

三多村久兵衛

大内甚兵衛

沼部大炊

下川卯兵衛

柳川式部

津田内蔵介

御宝蔵御数寄屋御記録

一、琴碁書画屏風壹雙

右極サイ色泥引 二重箱

内期桐唐紳金高壽絵

外黒地金ニテ桐ノ御紋附

依台命再掃之

御屏風ト名ツク也

越前元信

一、四季真山水

大豎幅彩色

越前守元信

一文字紫古印金中満州蜀錦上下唐織

此豊後国符内農人八島四郎左衛門秘之、其後、人王百五代

後柏原院帝御宇、大永三癸未年十一月大明世宗、此両室ヲ伝聞

テ臣下伯子進、肥前来渡其時始テ送舟通、同十一月肥前仁田

政右衛門、此両宝送渡、其後足利義晴公朝倉右京ヲ以大永五

酉年正月、大明江渡海、余多送、黄金再和朝江来渡已来、足利

家為秘藏者也、

永祿十一辰四月、足利義昭公ヨリ織田信長公拜領之、天正九辛巳年被秘之、○天正十八寅年四月、永徳命テ模再大明江送、○慶長八癸卯十二月、源大君被秘之、代々伝之、

右之図法眼元信一世古今之出来也、

一、西王母東方朔屏風卷雙

元信

古極彩色金雲砂子泥引

二重箱内 黒地桐御紋全唐幷

天正年中、甲州ヨリ献之、

一、頼信千葉城八幡太郎帰歴乱行図

古極彩色金砂子泥引

二重箱内朱金高時面唐幷

外箱 黒地桐御紋付

土佐守從五位下藤原経隆筆

撰津宮内大輔高親所持之、甲斐国主板垣民部少輔常康所持、天文十六末年、今川義元所持之、永祿三年、信長公秘之、天正十一年御物、

土佐守從五位下

一、八島合戦図

二雙

古極彩色金雲砂子泥引

二重箱内黒地外箱書附

兩筆越前守

加藤越後守

奥井仙知法眼

足利尊氏公

一、日本武将卷

拾卷

彩色

右二重箱外箱書附

表紙唐茶錦

谷崎法橋宗元

一、真山水

雙幅一文字白印金

玉潤

中茶呂錦御紋織出シ

上下北京織薄茶

一、牡丹

九形群青地彩色

一文字満州錦中生不知

上下薄茶純子

一、六字名号

金紙金泥表具

一文字古金欄中

龍金上下浅黄満州純子

一、唐子遊

大堅幅一文字古金欄

中大牡丹南金織上下

御紋唐幷薄茶地

右之六字之名号者、法然上人熊谷蓮昭江授ケ玉フ、其後承元元年、丹波多記郡多記仲光熊谷蓮昭ヨリ得之、鎌倉伝之者也、

又足利讚岐守貞氏伝之、足利代々伝之、天正年中御物、

画四幅者、永和三年、山名氏清秘之、応永元年、東山義

政公秘之、代々伝之、永祿年中、織田信長公所持之、天正年中至テ江間石見守献之也、以来羽柴家秘之、

元和二年中島氏持之、其後淀屋持之、

又後、金森長門守重頼所持之、

一、海棠折枝

ヨコ小巻 幅絹地

一、葡萄

同

一、梅

同

一、水仙

同

一、牡丹

同

一、芙蓉

同

一、ユツノ折枝

同

右之幅地紙団扇色紙ニシテ大奥御部屋

御座間御上段之紙戸ニ為之、

南條若狭守判

天正十一年

改

蜂江主膳 判

谷崎宗元法橋
生駒圓佐法橋

以上

- 一、葡萄 横幅墨面絹地
一文字金ラン中
- 一、茄子 満州織金上下唐織
横幅紙地
一文字印金中
- 一、観音 古金襴上下純子二重箱
大堅幅彩色
絹地一文字中上下共
- 一、三国志願三度 大横幅絹地
極彩色一文字
印金中満州錦
上下茶薄純子 二重箱内金高時面外箱附
- 日観
- 右大臣実朝
- 兆殿主
- 馬麟

- 一、屏風 五双
- 一、掛物 六幅
- 一、巻物 拾巻
- 一、袋戸 一口

西御宝藏御数寄屋之部

二長持之内 堤友益法橋

五番印 岡玄意

御道具奉行 奥村久馬助

一、竹

- 一文字古キラン中
- 唐織上下満州純子
- 一文字古キラン中
- 大堅幅絹地
- 一文字印金中
- 御紋唐紳上下純子
- 大堅幅絹地
- 一文字印金中
- 蜀錦上下御紋
- 唐紳茶地

- 一、孔明 大堅幅絹地彩色
一文字古キラン
中満州唐織
上下御紋カラクサ(唐紙)
小横モノ墨画
- 明仲昭
- 谷崎法眼
- 劉俊

一、風姿鶴

- 一文字印金中
- 御紋唐紳上下純子
- 大堅幅絹地
- 一文字印金中
- 蜀錦上下御紋
- 唐紳茶地

- 一、梅 絹地一文字印金
中金襴上下茶織金
- 胡庭暉
- 楊甫之

一、雪梅

- 大堅幅絹地
- 一文字印金中
- 蜀錦上下御紋
- 唐紳茶地

- 一、八僊人 大堅幅双幅彩色絹地一文字
南京蜀錦中古金襴上下
御紋唐織
- 願源清甫
- 顔輝

一、名古曾関

- 一文字紫印金
- 中北京薄茶紙地
- 上下御紋唐紳

- 一、釈迦出山之図 大堅幅
彩色一文字印金
中古金襴上下純子
- 刑部大輔土佐光茂
- 張思恭

- 一文字紫印金
- 中北京薄茶紙地
- 上下御紋唐紳

一、漁父屈原

豎幅絹 地極彩色
一文字白印金

馬遠

一、郭臣陸碯老来子

三幅対
絹地彩色

法眼元信

中錦織大牡丹

上下満州純子

天正十年二月、直井右京所持、其後、至テ真野豊後守献之、

元和二年三月、二宮与八郎所持之、其後泉州本江式部所持之、又後淀屋所持之、其後榊原刑部少輔政房所持之、

一、琴基書画

雙幅絹地

趙子昂

彩色一文字印金

中古金襴上下純子

〔田村日向守定之
田村日向守定之〕

天文戌年、川越之乱時、日下孫四郎光盛織田家江伝之後、天

正年中御物 二重箱津田丹阿弥

一、唐渡天神

豎幅薄彩色

元信

紙地一文字古キラン

中唐フリ上下御紋カラクサ

一、八幅太郎義家

紙地極彩色

土佐光持

一文字ラントウ

中満州緋子

上下御紋唐紳

加藤肥後守清政之所持、天正年中ニ至テ献之者也、以来伝之、

一、義経

豎幅彩色紙地

土佐光信

一文字紫印金

中古牡丹上下織出シ金襴

一、名古曾閑

豎幅彩色紙地

土佐修理光純

一文字蜀錦中

満州錦上下御紋唐紳

石川肥後守義成所持、天正年中献之者也、

一、芳埜龍田

豎幅薄彩色

土佐経光

一文字印金中古牡丹上下北京織

絹地一文字印金

中南京織出シ上下茶金

一、弥陀如来

大豎幅彩色絹地

内大臣重盛

一文字古金襴中古牡丹

上下純子

一、江島富士

横幅紙地一文字

土佐守経隆

満州純子中御紋

カラクサ上下東京綾

二重箱外箱書附 橋法眼永阿弥

一、雪富士

大横幅紙地

古土佐局待賢門院

一文字中上下共二

浅黄藤織金

一、武内大臣

中豎幅彩色

直之

紙地

表具地不知

青本民部所持天正年至テ献之者也、

一、須磨明石人丸

絹地三幅対

海田采女

氏家内膳献之、

彩色一文字

相保

印金中南京

天正年中御物

茶錦上下御紋チラン

一、秋野

大豎幅紙地

越前元信

極サイシキ一文字

古牡丹中浅黄織子

上下紹金

一、官女秋遊図

大豎幅紙地
極サイシキ

土佐刑部

小西摂津守行長從朝鮮持参分

陳所翁

一、菅相丞

大豎幅紙地
彩色一文字

越前法眼元信

一、牡丹錦鶏

大豎幅絹地
彩色表具

王若水

一、布袋

中上下共古金襴
中豎幅紙地彩色
一文字印金中一重雀

枯清法眼

一、水魚

御紋唐艸
横幅絹地
表具同断

頼庵

一、雪山水

中豎幅紙地
彩色表具地生

越前法眼

一、梅白頭翁

中豎幅絹地
彩色表具

月山人

一、猿猴

中豎墨画
紙地一文字
古金襴上下

牧溪法常

一、柳燕

横幅墨画
絹地表具同断

牧溪

右猿猴之軸、蒲生氏郷^(三浦)之蔵ナリ、天正年中ニ豊臣家宝、

以上

一、掛物 三拾八軸

西御宝蔵 二長持之内

御宝蔵番頭

松下勘兵衛

同御道具奉行

同掛り吟味役

大條民部少輔
加藤越後守
木下平左衛門
奥井仙智法眼

一、龍

大豎幅表具無之
唐織地不知

陳所翁

一、関羽

中豎幅絹地
彩色表具同断

文伯進

一、八仙人

豎雙幅
彩色絹地
表具同断

顔輝

一、野鶉

豎幅彩色絹地
表具同断

李安忠

一、木槿 白雀^{ウツ}

豎幅彩色絹地
表具同断

馬遠

一、子期伯牙

豎幅彩色絹地
表具同断

馬麟

一、虎

豎幅彩色絹地
表具同断

毛恠

右之箱、朝鮮劉燕之書附在之、

| | | |
|--------|------------------------------------|-------------|
| 一、墨梅 | 丸形墨 <small>(梅)</small> 面絹地 表具同断 | 王元章 |
| 一、墨竹 | 豎幅紙地 表具同断 | 梅道人 |
| 一、王照君 | 小横幅絹地 極彩色 表具同断 | 月山 |
| 一、竹 | 紙地墨面 表具同断 豎幅 | 文同與可 東坡写 |
| 一、龍 | 絹地墨 表具同断 大豎幅 | 天師大玄 |
| 一、山水 | 豎幅彩色 墨面表具 同断絹地 | 錢唐文進 |
| 一、真山水 | 大豎幅絹地 薄彩色表具 同断 | 李成 |
| 一、雨山水 | 丸形絹地彩色 表具同断 | 趙昌 |
| 一、寒山拾得 | 大豎幅絹地 真墨表具 同断 | 上官伯達 |
| 一、竹 | 小豎幅絹地 墨表具同断 | 可九思 |
| 一、漁父屈原 | 絹地彩色大豎幅 表具同断 | 馬麟 |

以上二十二幅何レモ二重箱
内朱金高時繪御紋チラシ外箱
黒地御紋附服紗紫地御紋付

箱書附 奥井仙智法眼判

木下平左衛門義行判

子期伯牙 野鶯 木槿ウリ 梅白頭翁(三)
牡丹錦鶏 柳燕 関羽 水魚 丸形梅

右九幅 元和元九月南條中務臣、南基内、同五月十一日得之、元和九年淀屋氏所持、

後甲州戸田三左衛門所持之、其後大和郡山石部左太郎所持、

安永年田沼主殿頭所持、

龍 竹 八仙人 王照君 漁父屈原
龍 墨竹 虎 山水 雨山水 寒山拾得
真山水 竹

右十三軸

元和元年五月、三浦中務弟、三浦法橋玄碩所持、
龍 八仙人 寛永年中伊達氏所持之、

王照君 安永年中田沼主殿頭所持之、

以上

一、掛物 二十二軸 豊臣二拾宝

南窓御藏和漢古画之部

二長持之内 拾五番印

拾六番印

蜂江主膳判

粟生善悦法橋判

岡崎周安判
南條若狭守判
奥村久馬介

北畠六郎左衛門行氏所持也、
天正年中至テ豊臣君ニ献之者也、

一、残雪山水

大横幅彩色紙地
一文字風帯白印金
中二重雀上下御紋唐附
二重箱内梨地御紋附

元信

箱書附

一、玄宗楊貴妃

竖幅彩色絹地
一文字風帯雙雀
中飛龍金上下満州綾

月山図元信写

橘永阿弥法眼判
田村日向守判

一、百猿図

竖幅墨絵紙地
一文字花重金中
茶地蜀二重龍上下
純子御紋チラス

牧溪法常

一、王照君

竖幅彩色絹地
一文字二重鶴中唐織
上下御紋チラス

月山道人

右五幅北畠氏献之、

一、大黒像

中竖幅彩色紙地
一文字古牡丹中二重
獅子上下浅黄御紋チラス

土佐伊予守

一、雪山水

横幅彩色紙地

土佐右近将監

一、呂洞賓

一文字印金中唐織
上下満州純子
中竖幅彩色
紙地一文字天紗織
中古金欄上下純子
丸形絹地極彩色

越前法眼元信

一、牡丹

一、春秋花鳥

一、蓮龜

一、鯉

一、龍

一、山水

一、山水

一文字二重雀中古
牡丹上下茶地唐織
竖幅絹地彩色
一文字獅龍地中
漢サラ紗上下御紋唐附
丸形袋表具
古牡丹軸メノウ

范安仁

右之軸、山中庄九郎所持後、浅井長政之蔵也、天正年中井上小左衛門時利得之テ豊臣君公江献之者ナリ、

頼菴

大横幅絹地彩色
表具織地不知
唐織カ軸メノウ
大竖幅絹地墨画
一文字印金中古牡丹
上下御紋カラクサ

楊月磧

天正年中、筑紫上野介康一献之者也、

玉潤

大横幅絹地墨画
一文字金欄中紫蜀錦織
上下茶龍出織キン
大横幅紙地ウス彩色
一文字印金中二重雀
上下浅黄緋_{フシ}子

宗丹

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--|-------------------------|--------------------------|--------------------------------|---|--|
| 一、雪山水 | 一、蓮燕 | 一、竹林七賢 | 一、商山四皓 | 一、三聖人 | 一、梅 | 一、布袋 | 一、四聖人 | 一、梅 | 一、山水 |
| 縦幅ウス彩色紙地 一文字金襴中紹金カ 上下茶錦カ | 縦幅紙地 一文字風帯上下共 唐織 | 双幅紙地一文字 印金中古牡丹カ 上下澗州茶織 | 縦幅紙地彩色 一文字風帯唐織 中古金襴上下浅キドンス | 縦幅紙地彩色 表具不殘唐ヲ ^(地) ニ ^リ シ 丸形絹地 | 古金襴仕立御紋チラシ 丸形絹地 | 横幅紙地彩色 上下中共ニ茶蜀 錦ヲリ | 大縦幅彩色 絹地一文字金襴中 上下共御紋カラクサ | 紫印金中古金襴 上下御紋カラクサ 横軸ウスサイシキ 絹地 ^(表具不殘) ニ ^(地) ニ ^リ | 横軸ウスサイシキ 絹地 ^(表具不殘) ニ ^(地) ニ ^リ |
| 周文 | 牧溪 | 同 | 同 | 同 | 松齋 | 啓書記 | 成宗道 | 王元章 | 趙大年 |
| 一、観音 | 一、達摩 | 織田氏蔵 | 同 | 同 | 一、梅墨 | 同 | 同 | 同 | 一、布袋唐子 |
| 大縦幅墨画 絹地表具地不知 | 大縦幅スミ画 絹地一文字古金襴 中ニ重鶴上下御紋チラシ | 縦幅絹地 一文字中上下共 御紋カラクサ | 小角形絹地墨 面一文字蜀錦中 | 茶椀子上下御紋唐丹 | 角形絹地一文字印金 中澗州錦上下御紋唐丹 | 縦幅絹地 表具唐綾 | 横幅絹地 表具子織不知 | 縦幅絹地 地織麗金カ | 小横幅絹地 一文字白印金中 古金襴上下茶錦 |
| 張伯洪 | 牧溪 | 士廉 | 陳処亨 | 明鏡 | 李息齋 | 張德琪 | 梁楷 | 牧溪 | |

同
一、人物

小角形絹地彩色
表具不残南京織金

仇英

○里見駿河守政元献之、
一、柳ニヌレ燕 横幅絹地

スミ面表具不残
古金襴

一 牧溪

同

一、八仙人

大竖幅真形
絹地表具地不知
表具不残古金ラン

孫君澤

一、山水

紙地竖幅
表具同断

高然暉

同

一、孔雀海棠

大竖幅双掛襖
彩色絹地表具
同断

王若水

一、恁鷹

中竖幅絹地彩色
表具不残古金襴

黄筌

同

一、鷹

竖幅絹地彩色
表具地生不知

徐澤

一、極鷺^極

竖幅絹地
一文字白印金

郭熙

同

一、山水

中横幅ウス彩色
絹地々生不知

李唐

一、龍虎

中上下共唐茶錦
雙幅竖掛
一文字金襴中上下共二
御紋チラシ

牧溪

○大野修理亮献之、

一、戴安道

横幅絹地
一文字上下共二

閻次平

掛物
以上

五拾軸

○池田伊豆守政行献之、

一、猿猴

紙地竖軸
墨面表具同断

牧溪

御部屋之部
南二之御藏和漢古画
御長持拾式之内

内大臣秀頼公御物

○宗右近宗衡献之、

一、梅

竖幅絹地
表具地生不知
軸唐竹根カ

楊甫之

奥御数寄屋頭

加藤丹後
津田兵部
谷崎法橋宗元
堤法橋友益

栗生善悦法橋
箱書附

馬公頭

同改頭取

三多村法橋道永

岡玄意

一、関白（五）太政大臣秀吉公御正像

御書印
三書在之

右絹地極彩色

筆狩野永徳法印

一文字白印金中茶地蜀錦（地）織

御紋唐艸上下薄茶御紋チラシ

三重箱内黒地金高蒔画御紋

唐艸外箱梨地金高蒔画御紋付

六拾図之内卷軸（定）之也、

蒔画下画 永徳法（御）印
塗師 田中正安法橋

服紗蜀錦軸サンコ、珠外箱各姓名

拜礼之輩

備前中納言浮田豊臣秀家判

岐阜中納言織田平秀信判

丹波中納言羽柴豊臣秀勝判

中村式部大輔吉行

生駒雅楽頭吉時

浅野弾正大弼長政

増田右衛門尉長盛

小西摂津守行長

長曾我部土佐守元親

井上小左衛門時利

毛利豊前守勝永

大野修理亮治長

丹羽民部政光

伊藤丹後守長実

中島式部氏種

三浦上総介義政

北畠六郎左衛門行氏

宗右近宗衡

堀田図書勝喜

埜村伊予守雅春

石川肥後守義成

筒井伊賀守貞次

木村長門守重成

同主計頭宗重

池田伊豆守政行

筑（柴）、上野介康一

各々姓名書印在之、

倉橋刑部少輔喜安

布施長閑入道

千葉日向守三長

森中務大輔勝氏

山本但馬守重高

山川帯刀賢信

里見駿河守政元

宮城（信）濃守吉昌

片桐東市正且元

大木式部卿法印

寺田宮内康貞

古田織部正

堤法橋友益

里見玄徳齋

田村日向守（前）

月山道人

一、楊貴妃

絹地極彩色豎幅

一文字紅印金中茶錦

上下瀟州織金二重箱御紋附

紙（地）墨画双幅

一文字瀟州茶金中唐織

上下薄茶御紋チラシ

五幅対絹地

墨画表具無之

横幅丸形紙地

ウスサイシキ

越前元信

蘇東坡

渡唐秋月

一、山水

右、木村長門守重盛所持之後ニ至テ

内府大君江献之者也、

一、神農

大豎幅彩色一文字
天織中古金襴上下

西金居士

一、風姿

横幅一文字古牡丹
中朝鮮織藤クツワ

法眼元信

長享元年、東山義政公所持之、天正年中中川権八献之、

一、鍾馗

大豎幅紙地墨面
一文字白地印金中茶地

雪舟

一、日本武将卷

拾卷
内五卷

尊氏公図写
足利義持

天正年中、増田右衛門尉献之、

一、舍那王丸

大豎幅紙地一文字
古金襴中満州綾

土佐刑部大輔

純子上下浅黄唐坤織出
一文字白地印金中茶地

天文元年筒井左近所持、天正年筒井伊賀守献之、

一、山水

雙幅丸形
ウスサイシキ

松栄法眼

木村長門守臣半田市兵衛、天正十一年献之、

一、鉢木図

大横幅彩色一文字
唐織中蜀錦上下

粟田口民部卿法眼隆光

紺純子

延元二年新田義貞臣栗生氏所持、天正年山口左馬介献之、

一、鐘馗

中豎幅真墨面
一文字紅印金中御紋

永徳法印

唐紳上下古トンス

天正年奥州伊達郡岩永藏人献之、

一、松鷹岩鷹

雙幅サイシキ
絹地一文字唐

李仲和

綾中二重金襴上下古純子

北条時頼之所持、永禄年中信長公持、天正年中御物

一、八仙人

雙幅彩色一文字
蜀錦中満州純子上下

顔輝

天正年中川崎和泉守献之、

一、彩色色箱入外箱書附

右彩色色箱入外箱書附
三多村道永法橋

古田織部正

文安五年河内国長崎美作守光吉東山義政公江献之、以来足利家所持之、天正十年義植公北面之武士遠藤式部江伝之、

右之内五卷者、北條早雲所持之、

大永三年肥前松浦臣 川原安右衛門大明江渡、

北條早雲所持之分、近江之国阿曾治長所持之、永禄年中信長公所持、

天正年中御物、後淀屋辰五郎所持之、

安永年田沼主殿頭持、

一、釈迦出山之図

小豎モノ一文字唐綾
中古金襴上下地生不知

安元二年三月、育王山ヨリ小松内大臣重盛公江送之、其後和田氏秘之、曆仁年、源頼経公江献之、代々鎌倉伝之、建長五癸丑十二月、北条右衛門捍領之、康元元辰七月、左衛門時貞親鸞上人江伝之者也、釈迦尊図是ヨリエキレイ能除ケ、又ハ

度度火難ヲノカレ玉フ、其頃親鸞難ヨケノ釈迦唱ルナリ、八仙人之幅者、栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

栗津三郎江伝之、

八仙人之図者、遠藤式部大輔江伝之、
釈迦之図者、栗津重經江伝之、天正八年織田信長公所持、
同十三年乙酉十一月朔日、関白被秘之、八仙之軸者、為織
田信長公之菩提所、紫大徳寺江伝之者也、

以上

- 一、掛物 式拾三軸
- 一、巻物 拾巻

御部屋之部

関白秀次公御物

南三ノ御蔵 和漢古画

一一長持之内西印

蜂江七太夫判

林安太夫判

谷崎宗弥法橋

- 一、文王大公望

網地

堅モノ極彩色

馬遠

安元二年三月、育王山ヨリ 小松内大臣重盛公送之、其後

和田氏秘之、曆応仁年中和田義次源頼経公江献之、代々鎌倉

家伝之者也、

正和二年、守邦親王秘之、同四年、山名播磨守拝領之、

代々山名氏伝之、永祿元年戊十一月於三州苜屋喜恵九

左衛門得之、天正年中小西撰津守行長江伝之、後二至

テ南御宝蔵入者也、

- 一、王羲之

堅モノ紙地彩色

越前元信

一文字地生不知中

満州錦上下御紋唐神

堅フク彩色表具

古牡丹仕立

- 一、寿老人

雪舟

- 一、墨梅

二重箱

雙幅大壁

網地一文字白印金

中唐織上下御紋唐神茶地

雪湖

二重箱内朱地金

高蒔画箱書附

右之三軸

坂川忠兵衛

吉田次太夫

柴村玄知法橋

天正十九年、奥州九戸陳之時、多賀三郎兵衛光吉古田織部正
江伝之、其後南御蔵入者也、

- 一、梅

一文字印金中満州錦

上下御紋唐神

王元章

- 一、西王母

堅幅彩色網地

一文字唐織中御紋

カラ紳上下、純子(上下、純子)

舜拳

- 一、鐘馗

堅幅真墨画

紙地一文字印金

中唐織上下古純子

梁楷図元信

- 一、王照君

小横物網地極彩色

一文字古牡丹中

李安忠

二重箱上下古錦欄

大横幅ウスサイシキ

玉潤仲石(石)

網地一文字印金中御紋

唐紳上下カラ綾

小横幅網地彩色

毛益

一文字印金中古牡丹

一、大黒 (原) 豎幅彩色 紙地 土佐伊予守

一、雪山水 豎幅ワス彩色 紙地 土佐右近将監

一、呂洞賓 豎幅彩色 紙地 越前法眼

一、牡丹丸形 絹地三幅対群青 地極サイシキ (五) 越昌

一、鯉 絹地横幅 (无) 宋范安仁 楊月礪

一、龍 大豎幅絹地 以上五十四軸

南御宝蔵四番之部

九番長持之内 蜂江主膳 堤友益法橋 林宮内卿 四宮藤五郎 加藤丹後

日埜右京大夫康氏献之者也、

一、東方朔 大豎幅一文字 印金中二重雀 越前法眼

倉橋刑部少輔喜安、天正年中至テ献之者也、

一、雀屏風 老雙極彩色 上下竹布金紙地 二重箱内黒地御紋附 雅楽之助

千葉日向守三長、天正年 (中) 中 献之者也、

一、鷹屏風 薄彩色老雙 外箱春慶 曾我直庵

二重箱内朱金高時面 外箱 (原) 知御紋附

一、虎 大豎幅絹地 薄彩色表具切不知 里見駿河守政元献之者也、 牧溪

一、芙蓉麝香 大豎幅彩色 絹地一文字二重 雀中上下共満州織 王季本

一、李白 中豎幅彩色絹地 一文字上下共古牡丹 小横幅薄彩色 顔輝

一、雪山水 絹地一文字風帯 白印金中龍御織 (原) 上下御紋唐艸 李唐

一、孔雀 大豎幅彩色 一文字印金中 古牡丹上下龍花艸 徐熙

一、觀音 入江安碩所持之处、天正九年於姫路献之、 豎幅絹地彩色 百濟河成

一、十六羅漢 絹幅表具地 織不知 中古牡丹上下満州錦 僧都玲海

一、龍 大豎幅一丈二尺余 横九尺三寸余 大横幅一文字風帯 巨勢金岡

一、雪和山水 大横幅一文字風帯 不知中上下福州織金 姉小路中納言清隆男 主殿頭隆能

一、文珠

大豎幅キヌ彩色
一文字印金力中純子
上下唐織之由

巨勢弘高

一、鹿秋野

豎幅紙地
彩色

法眼快閑

一、龍

豎幅紙地
スミ

宅磨豊後守

一、観音

大豎幅紙地
彩色

粟田口民部卿法眼

一、大黒天神

豎幅キヌシ
彩色

住吉法眼

一、竹

雙幅絹地
スミ一文字印金
中地生不知上下

道昇婦人

一、梅

満州アヤマ申伝
大豎幅絹地
一文字唐ヲリ

王元章

小田原北条之所持、天正年中藤掛一甫法橋猷之者也、
一、釈迦
豎幅紙地スミエ
一文字上下共二地生

真海僧都

一、弁天

不知唐切ト申伝
豎幅絹地彩色
唐表具上下中共二

法眼浄賀

一、関羽

丸形絹地彩色
〔所製月上下共二〕
一文字印金中龍
〔酒州船〕
上下淺黄純子

李宗皇帝

一、梅

丸形墨面絹地
一文字古牡丹中茶地
蜀織金上下薄茶織金

薩天錫

一、梅

五幅対絹地
筆者取合

中 楊甫之

右者、元和年中大坂鴻池氏所持之也、

一、竹

三幅墨絹地
一文字二重雀中
欄龍上下薄唐

左 道昇婦人

茶南京ヲリ

中 東坡

長祿年中、足利藏後、織田信長公藏、天正年中曾我、
一、梅竹屏風 式雙取合 押面張紙絹取合

右 道昇婦人

梅

郭熙 楊甫之 楊枝 趙子固 寂雅
楊夫人 趙子昂 元章 松齋 王正真

文同与可 東坡 趙昌 柯山 李宗帝
梅道人 道昇女人 玉潤 可九思 如齋

紅眉 馬明瑞

右之画、天正十三年、谷崎宗元、田村日向守、津田丹阿弥各集之、
大縁南京錦小縁
朱カラ、絨、藤二重箱
紙中絹ニテ砂子

元和元年十一月、南條中務臣山田吉太郎所持シテ難波江送之、淀屋氏所持之由○元禄八年二大坂ニテ片々見ル由、玄意法眼日記ニ在之、

梅竹一雙、安永年中田沼主殿頭所持之者也、

黄筌筆

一、牡丹孔雀 大横物一文字

右極彩色 風帯紫印金

絹地 中二重雀上下

薄茶古金襴

小西撰津守豊臣行長、朝鮮ヨリ持来、東坡竹三幅对者、境之町人

小西三郎所持之者也、

一、龍虎屏風

老雙

牧溪図

元信写

水墨砂子

二重箱入大縁満州緞子小縁

金襴内箱朱金高蒔絵

以上

一、掛物

三拾二軸

一、屏風

五雙

南三御蔵五長持之内

九番

拾一番

拾二番

拾三番

拾番

一、雪山水

横幅一文字風帯白印金

絹地 中二重雀上下
薄茶緞子

馬遠

一、春大和山水

大竖幅紙地一文字紫

極彩色 印金中古金
欄上下満州錦

土佐刑部大輔

一、牡丹

三幅对絹地

王立本

一、琴碁書画

三幅对絹地

極彩色

一文字丸籠中花色古杜
丹上下御紋府紳

子昭

一、龍虎

屏風老雙

墨絵大縁蜀錦地

牧溪(所)翁写
元信画

小縁古牡丹

生駒雅楽頭吉時所持、天正年中二至テ献之、

元和中淀屋氏所持、又後至テ鴻池氏所持、

一、琴碁書画

大縁古牡丹

小縁古金襴

元信再帰之
屏風之模永徳筆

極彩色屏風

老雙砂子泥引

布施長閑入道所持、天正年中並川伯耆守所持者也、元和中、

中島祐麟所持後、至テ淀屋氏所持、又後(所)鴻池氏所持者也、

一、八仙人

大竖雙幅

顔輝元信模

極彩色絹地

一、漢高祖

大竖幅絹地

月山元信模

極彩色

一、風雨牡丹

大竖雙幅

若水趙昌元信模

絹地極彩色

一、琴碁書画

絹地雙幅

子昭越前法眼模

極彩色

一、龍屏風老雙

越前法眼元信模

右筆者 陳所翁 牧溪 徐熙 李安忠

天師大玄 顔輝 馬麟 耀卿 楊月濶

陳世英 月山 李宗帝

小西撰津守行長所持、天正年中献之、又元和中森中務大輔勝

氏臣熊谷帯刀所持、後淀屋氏所持、

一、真山水

絹地極彩色
屏風一雙

法眼元信模

一、孫君澤

一、丹山

一、黄筌

一、花鳥

絹地極彩色
屏風二雙

松二白府タカ

一、徽宗帝

一、趙昌

一、郭熙

一、玉立本

一、徐澤

一、大和山水

牡丹テウ

一、徐澤

一、大和山水

一、真山水

一、牡丹屏風

一、真山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、大和山水

一、六玉川

彩色

土佐修理

一、仙臺松島

極彩色
式雙
砂子泥引

土佐刑部大輔

一、大江山卷

三卷

越前法眼元信

右

豊臣御教番屋記録

東京市下谷区上野公園内

昭和五年五月写了

老冊

美術研究所蔵

長曾我土佐守所持、天正年中御物、南三御蔵入、元和年中谷崎法橋宗元得之後、淀屋氏所持、

王若水之図以

雅楽之介画

越前法眼画

土佐伊予守

*1 最近の解説でまとまったものとして、徳川美術館企画展特別展『室町將軍家の至宝を探る』(二〇〇八年 志賀太郎氏執筆)がある。
*2 本史料の考察については、黒田智「足利尊氏像と再生産される甲冑騎馬肖像画」(中島圭一編『中世社会 解体の萌芽(仮)』高志書院 二〇一六年予定)、同「天皇と天下人の美術戦略」(高岸輝・黒田智『天皇の美術史』三 吉川弘文館 近刊予定)ほか、別稿を準備中である。